

七倉ダムのトンネルに薄井商店様の日本酒が搬入されました



【七倉ダムの全景】

4月25日、清酒「白馬錦」の蔵元である薄井商店様が七倉ダム（長野県大町市）のトンネルにお酒を搬入されました。

貯蔵されたお酒は、毎年恒例となっている純米吟醸のひやおろし「アルプス湖洞貯蔵（生詰）」に加え、田植えの段階から一般の方も参加して作られた「白馬八方 黒菱」など数種類。これらのお酒は、これから数ヶ月以上の長い時間、静かで涼しいトンネル内でゆっくり熟成していきます。

搬入を手伝った当社社員は、「売り切れる前に必ず買いたい」と熟成後の購入を今から楽しみにしています。



【お酒搬入のようす】

薄井商店様は「細かい温度変化を繰り返す冷蔵庫よりも、トンネル内の温度はより安定してお酒の熟成に向いている。さらに、この人里離れた環境が『ロマン仕込み』を完成させる。是非、多くの方に飲んでいただきたい。」と、おっしゃっていました。

今回のトンネルへの搬入については、薄井商店様のブログにも掲載されています。

<http://www.hakubanishiki.co.jp/blog/2018/04/25/1524661275670.html>



【薄井商店の皆さまと搬入を手伝った当社社員】